

公益社団法人私立大学情報教育協会
2019年度第3回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会、情報リテラシー・情報倫理分科会、分野別情報教育分科会

I. 日 時：令和元年7月26日（金） 17：00～19：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会会議室

III. 参加者：大原議長、笈アトバイ、渡辺主査、玉田主査、和田委員、金子委員、
児島主査(Skype)、角田委員、渡辺アトバイ
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

本日の会議は、斎藤委員長からの指名で、大原先生に委員長代理で議長を務めていただくことが確認された。

1. 到達目標Aの教育モデルについて

- ・ SDGsについて17の課題を国連広報センターのビデオを視聴させることが追加された。
- ・ 事前課題の時間制限は付けていない想定で提案されて30分程度の学修時間が想定されるが、反転用としては5～10分程度が通常の教材との意見があった。
- ・ シミュレーションの内容について質問があり、社会データを表計算ソフトで処理させることが説明された。
- ・ 社会的な問題の中で一つのテーマとしてSDGsが考えられるとの流れが必要で、具体的な説明は各大学のレベルによって変わってくるのではないかと。
- ・ 新しい価値の創造を目指して取組むために、最低限の基礎知識をどのように与えるのが課題ではないかと。
- ・ 到達目標と課題の関連性、課題意識を持たせ、SDGsへつなげる流れとして、ビデオ教材の想定は10分程度で分割する方向で検討してはどうか。

2. 到達目標Cの教育モデルについて

- ・ 1コマ目はIoT、2コマ目はロジックとモデル化・シミュレーション、3コマ目はAI関連、4コマ目は社会のICTとセキュリティの枠組みを基本に指導方法及び教育内容が整理・提案された。
- ・ 指導方法、学修環境は、ビデオ説明から仮想空間での体験学修などが考えられる。
- ・ 学生が興味・関心を持てるような授業シナリオを考えたい。

3. 専門科目との連携モデルの更新について

- ・ 文系（経済学）、理工系（機械工学）、医療系（医学）の3分野で提案することにした。

V. 今後のスケジュール

- ・ 次回は、8月3日に合同会議を開催し、到達目標C授業シナリオと専門科目の授業モデルを検討することになっている。